

18 鎌倉仏教

特徴：簡単な行い(易行)を一つだけ選んで(選択)それに専念する(専修)仏教

古い仏教は寺が荘園領主におさまり墮落していた。また戦乱は不安と緊張を高めた。そこでわかりやすい仏教を人々は求めた。

浄土宗

法然 (源空)…天台の教学を学ぶ。

“**専修念仏**”を主張、阿弥陀仏の誓いを信じ、念仏(南無阿弥陀仏)をひたすら唱えれば死後、極楽浄土に往生できるのだ!**九条兼実**が篤く信仰。

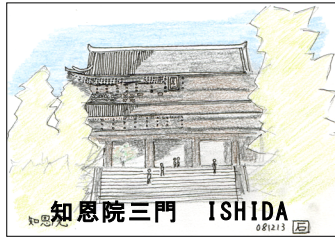
法然が【主著】『**撰択本願念仏集**』を九条兼実に呈した事、九条兼実の日記が

→『**玉葉**』であり、弟が『**愚管抄**』の慈円であることも覚えよ。

→混乱・旧仏教からの批判→**土佐**へ流罪の一因は、法相宗貞慶の『興福寺奏状』である。専修念仏禁止 1207…承元の法難

【宗派】**浄土宗** 総本山：**知恩院** (京都)

死の直前、「一枚起請文」を書いた。



知恩院三門 ISHIDA 081213

浄土真宗

大物**親鸞**である。法然の弟子。 →1207...**越後**へ流罪 その後関東で地方武士や庶民と接し、戒律を破って生活している者も救われると考え【**悪人正機説**】を唱えた。

【主著】『**教行信証**』

→弟子**唯円**の書いた『**教異抄**』も大事、悪人正機説が書かれているから。

【宗派】**浄土真宗** (**一向宗** ともいう)

総本山：**本願寺** (京都)

●悪人正機説 (教異抄)

善人なほもって往生をとぐ、いはんや悪人をや。しかるを世のひとつねにいはいく、悪人なを往生す。いかにいはいんや善人をやと。この条、一旦そのいはれあるににたれども、本願他力の意趣にそむけり。そのゆへは自力作善のひとは、ひとへに他力をたのむことろかけたるあひだ、弥陀の本願にあらず。…煩惱具足のわれらはいづれの行にても生死をはなることあるべからざるをあはれみたまひて、願をおこしたまふ本意、悪人成仏のためなれば、他方をたのみたてまつる悪人、もとも往生の正因なり。よりて善人だにこそ往生すれ、まして悪人はと、おほせさぶらひき。

明治大では悪人正機説の意味を知らないと正答を得られない問題が出た。善人は自力に頼るが悪人は自力がなく、頼る心が多い。だから阿弥陀仏にすがるのが強いのだ。が簡単な意味だ。**絶対他力**の思想が親鸞である。

時宗

一遍 仲間(時衆)とともに諸国を遍歴→“遊行上人”

・信心の有無・善人悪人の別なく往生は決定 →「南無阿弥陀仏」の札を配る

“**踊念仏** (念仏踊)”の普及

【主著】なし(『一遍上人語録』弟子の著)【宗派】**時宗** 総本山：清浄光寺(神奈川)

日蓮宗

日蓮 は浄土系【念仏系】の流行に対して、日本仏教で古来から重視されてきた

【**法華経**】を信仰の対象とした。そして**題目**を唱えることを第一とした。

すなわち、ひたすら【**南無妙法蓮華経**】である。簡単な行い=易行である。題目とは何か?が、早稲田で出た。主著『**立正安国論**』が1260年前執権**北条時頼**に献じられた。内乱や他国の侵略を警告、これがもとで伊豆に流された。また佐渡に流されてもへたれない強さが真骨頂。念仏無間・禪天魔・人事を尽くして天命を待つ!

臨済宗【禅宗】

坐禅によってみずから鍛錬し、釈迦の境地に近づくことを主張する。精神一到何事かならざらんの心境だ。

栄西 は天台教学を学んだ。**宋**に渡り禅宗を伝えた。茶の苗を持ち帰り喫茶の習慣を伝えたこと(『**喫茶養生記**』を著す)等がよく出る。

座禅を組んで**公案**(師から示される問題)を解決→悟り 公案重視

「空は何故に青いのか?青いからだ」これが禅問答 幕府の保護強し

【主著】『**興禅護国論**』【宗派】**臨済宗** 総本山：**建仁寺** (京都)

曹洞宗【禅宗】

ただ座れ!【**只管打座**】を唱え、臨済宗と異なり

弟子

南宋・元より禅僧の渡来

◎この臨済宗系の2点セットは絶対忘れてはダメ!彼らは南宋からの亡命者。

ex. **蘭溪道隆** 1249 来日 (南宋滅亡の年) → **北条時頼** の帰依 **建長寺** 開山

親鸞 **40 龜芳禪秀** 1279 来日 → **北条時宗** の帰依 **円覚寺** 開山

ららら建長寺、むむむ円覚寺

☞精神一到何事かならざらん

◎ **道元** …貴族出身 栄西の弟子

・ “**只管打座**” …公案よりも坐禅を重視

(ただ心を無にして座る)

→権力者から距離を置く・地方武士の帰依

【主著】『**正法眼蔵**』【宗派】**曹洞宗** [1227]

総本山：**永平寺** (福井)永久の平和を望むから永平寺。

えじょう

弟子 **懷奘**の『正法眼蔵随聞記』



円覚寺

[III] 題目系 …天台宗から発展

◎ **日蓮** …安房国の漁村出身

・ 法華経の重視 … **題目** (=「南無妙法蓮華経」)を唱える

→現世が仏国土に

・ **法華至上主義**、辻説法 etc. →他宗からの迫害、幕府の弾圧

ex. 四箇格言「念仏無間、禪天魔、真言亡国、律国賊」



【主著】『**立正安国論**』 【宗派】法華宗(日蓮宗)[1253]

総本山：久遠寺(山梨)

…内乱や他国の侵略を警告 前執権**北条時頼**に提出
これが原因で伊豆に流された

凡人事を尽くして天命を待つ

ことわざ的にはこれである。人間やるだけやったら、あとは天命ですなの世界。元寇のころ海に向かって“南無妙法蓮華経”と題目となえて元寇撃退、日蓮宗は言う。

■旧仏教の革新運動 依然として仏教の中心・権門として世俗権力化(荘園領主)
新仏教の興隆による反省 …**戒律**の重視など 世俗化への批判、民衆との接点

☞法相宗の貞慶と華嚴宗の高弁の活動は大切

華嚴宗

法然批判から

法相宗の**貞慶**は戒律の重視を唱え興福寺を出て笠置山に隠遁。

法然を批判した『**興福寺僧状**』は、法然の四国配流の契機となった。

◎ **高弁**(明恵)…**華嚴宗**再興 梅尾 **高山寺**(京都)開山 『摧邪輪』

法然批判についてはもちろん、さらに出身の寺、その後の活動の拠点になった寺も難度は高いが出題される。

B. 律宗僧の**俊苒**(我禅)…**泉涌寺**開山 朱子学を伝える 念仏反对論活躍

◎ **叡尊**(思円)…西大寺再興 真言宗を取り入れる(真言律宗) 社会事業

◎ **忍性**(良観)…叡尊の弟子 鎌倉極楽寺開山 社会事業(ex. 架橋・救民)
奈良に **北山十八間戸**(らい病患者救済施設)

☞律宗の叡尊とその弟子の戒律の復興活動+社会事業も大切!

☆鎌倉仏教の流れ(活躍時期)

	旧仏教	禅宗系	念仏系	題目系
源平内乱期	貞慶【 高弁 】	【 荣西 】	【 法然 】	
承久の乱期	俊苒	【 道元 】	【 親鸞 】	
元寇前後	【 叡尊 】 忍性	【 蘭溪道隆 】 無学祖元	【 一 】 遍 】	【 日蓮 】

☆神道 …神仏習合の理論化が進む

本地垂迹説…神に対して仏が優位 山王神道(天台宗系)、**両部神道**(真言宗系)

反本地垂迹説(神本仏迹説)…仏に対して神を優位に ※元寇の影響

ex. **伊勢神道**(**度会神道**)…**度会家行**(伊勢外宮の神官、『**類聚神祇本源**』)

論述問題 筑波大 年度 2006年 設問番号 第2問 テーマ 鎌倉仏教/中世問

鎌倉時代の仏教について、次のア～エの語句を用いて論述せよ。解答文中、これらの語句には下線を付け。ただし、語句使用の順序は自由とする。400字以内で解答せよ。

ア 法華経 イ 戒律の重視 ウ 座禅 エ 専修念仏